放課後等デイサービス評価表　保護者等向け　2019年度　集計21名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	保護者の方からのご意見	取り組み状況・保護者の方へ
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	6	1	もう少し広いといいです。×2	1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。利用者がより快適に過ごせる環境を整えています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2			法令で必要とされる人員基準に加え、今年度は言語聴覚士（専門職）を毎日一人配置。管理者を含め、6名で支援しています。支援員は専門職のほか、元特別支援学校教諭・元小学校教諭・保育士などの有資格者も多く揃え支援しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	4	1		階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。転倒防止に関してはスタッフが付くなどの配慮をしています。階段に関しては、安全設計の滑り止めを付けるより安全に昇降できるようになりました。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	1			年2回の個人面談の実施。その際に、保護者のニーズはもちろん、利用者本人より聞き取りも実施しています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	2		色々な経験をさせてもらい感謝しています。	調理・製作・散歩など、活動内容を週毎にローテーションにて取り組んでいます。夏休み等の長期休暇時にしか出来ない行事も取り入れて活動しています。詳細はHPにアップされている学童クラブ通信をご覧ください。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	14	2	存じていません。 そのような交流は希望していません。	ライブラリーは一般学童卒業後のお子さんを対象としている為、学童クラブや児童館に来ているお子さんとの年齢差があり、一緒に活動する難しさがあります。現在は、近隣の学童さんと行事のお知らせは交換している状況です。

保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1			利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。利用料に関しては、毎年変更があります。随時書面にて配布してお知らせしますで、ご確認ください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1		子どもへの理解と保護者への援助提言が適切で、学校との関わりもサポートして頂いている。 様子の変化に気が付いて頂き有難いです。	サービス提供記録にて連絡。変わった様子が見られた時は送迎時・メール・電話等・手紙・連絡帳にて、随時連絡し連携を図っています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21				年2回個人面談の実施。相談が必要な場合は随時対応に努めています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	8	3	いつも相談にのってもらい助かっています。	保護者会・バザー等、保護者間で顔合わせをする機会を設けています。各家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状のようですが、毎年少しずつ参加人数も増えてきています。保護者同士の連携は大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	3		苦情がないので分かりません。	重要事項説明書にて外部の相談窓口も記載、苦情解決担当者及び責任者を配置し対応しています。気になる事がありましたら、いつでもお問い合わせ下さい。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			意志の疎通は万全です。	保護者にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら気持ちの確認に取り組んでいます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1			学童クラブ通信（月１回）、いきいきだより（年１回）の発行。HPにブログも開設していますので是非ご覧ください。

	14	個人情報に十分注意しているか	19	2			鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	3			災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルの策定しています。おもちゃライブラリーの【しおり】を配布していますので、そちらもご確認ください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2			年５回避難訓練（火災・地震・ミサイル・不審者）を実施しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21			とても楽しみにしています。×2	今後も学校・家庭とも違う“子ども達の生活の場”として、子どもたちが楽しみに登所できるよう努力していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	21			大満足です。 親身になって相談に応じていただき満足している。	長期休暇時には、必要に応じ時間延長する等、地域で暮らし易いような支援に取り組んでいます。今後も保護者のニーズを拾い、寄り添っていけるよう努めていきたいと思っています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス自己評価表　　2019年度　　集計12名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	3		1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。限られた環境ですが工夫し利用者がより快適に過ごせる環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	1		法令で必要とされる人員基準に加え、言語聴覚士（専門職）を毎日配置しより充実させることができてきました。ボランティアも随時受付しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	7	2	階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。転倒防止に関してはスタッフが付くなどの配慮をしています。階段に関しては安全設計の滑り止めを付け、より安全に昇降できるようになりました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	1		曜日により担当支援員が異なるので、年3回全職員で集まり職員会議を実施し、全職員が参画できるよう努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	12			毎年ガイドラインに基づきアンケート調査を実施しています。今年度は2回目の第3者評価も受審しました。結果がHPより見られますので是非ご覧ください。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			毎年アンケート調査実施。昨年度より結果もHPにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12			今年度に2度目の第3者評価を受審し、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12			内部研修の他、東京都主催支援者育成講座・強度行動障害研修など外部研修にも参加し、支援の質の向上に努めています。また、各学校の行事や学校公開にも足を運び、学校での様子を把握し、支援に繋げています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		年2回の面談の実施、個別支援計画に子どもの意向欄を記載しニーズに沿って計画案作成に役立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	2	少しずつは取り組み始めましたがまだ課題は残っていると感じられるので、今後も標準化されたアセスメントツールを活用し、個人の適応状況を図っていけるよう改善していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2		職員間での打ち合わせや定期的な会議、時に活動プログラムを検討し、常勤支援員だけでなく、非常勤支援員へも役割を振り、各々の支援員の個性を活かし活動に取り組んでいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12			調理・製作・散歩など、活動内容を週毎にローテーションにて取り組んでいます。今後も職員間で意見を出し合い、工夫していきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12			長期休暇時には同法人内の作業所と合同の花見・BBQなどの行事、カラオケ忘年会や近隣の図書館や工場見学などの施設へのお出かけ等、通常開所時にはできないイベントも充実させています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	12			個別な配慮が必要な子がいる場合は、職員配置も含めて対応するように努力しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			毎日、活動開始前には職員で集まり、ミーティングの実施を徹底しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	6	6		活動終了後送迎業務がある為、非常勤支援員との振り返りは難しいが、常勤同士では取り組んでいます。また、職員間で報告シートや業務日誌に記載し、口頭での状況報告だけでなく、翌日非常勤支援員も内容を確認できる環境を整えています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			サービス提供記録を全支援員が記入しているので、支援するにあたり責任と意欲・意識向上に繋がっています。また、個別支援計画の評価結果は毎月、業務日誌も毎日記録し、会議や面談に活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		年に２回面談時に計画の見直し、ニーズの確認をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	9	1		トイレや身辺自立等の生活習慣の支援、遊びや音楽療法・調理・製作などの活動を通じ様々な経験を重ねられるよう支援しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1		担当相談支援員と情報交換をしています。また、必要に応じて支援者連携会議や学校へ出向き支援会議に出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11			送迎時はもちろん、各学校の行事にも出向き直接話す機会をつくり連絡調整の取りやすい環境を整えています。必要に応じて、支援者会議に出席や各々のニーズに合わせて学校へ訪問、ご家庭と学校との関係調整の支援も取り組んできました。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	3		支援者連携会議等に参加し、連携を図っています。必要に応じて主治医と書面にてお子さんの様子を共有しています。現在は対象者が少ないですが、今後必要な場合は連携を取っていきたいと思っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	5	1	昨年度より年に２回、市内の各学童への挨拶回りをし、連携を取りやすい環境整備をしました。今後も連携し支援していきたいと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	2		現在、情報提供はしていないが、要望があれば対応できる態勢は整えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1		児童発達支援センター主催の研修は毎回受講し、支援の質向上に努めています。今年度は障害者センターと共催にて研修会を実施します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5	2	ライブラリーは一般学童卒業後のお子さんを対象としている為、学童クラブや児童館に来ているお子さんとの年齢差があり、一緒に活動する難しさがあります。現在は、近隣の学童さんと行事のお知らせは交換している状況です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9	1	1	社会福祉協議会・自立生活支援センター・子ども家庭支援センターとの連携や福祉NPO連絡会・小金井市の放デイの連絡会に参加し連携を深めています。また自立支援協議会の役員の方とも連携がとれる環境が整ってきたので、今後の連携の仕方を考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			日常の様子や報告は常に連絡を取り合い、保護者との理解を深め子どもたちの成長につなげています。今後も重要な支援と捉え、連絡を密に取っていきたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	6	3	2	支援員が研修に参加し、ペアレントトレーニングについて理解を深めました。今後も子どもの状況を保護者と確認しながら助言をしていきたいと思っています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。変更があった際は随時、重要事項説明書にて変更点を中心に書面にてお知らせをしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			面談時だけでなく、随時相談を受け、必要に応じて個別な対応・支援に努めています。今後も、利用者本人の気持ちを大切に本人･ご家庭の支援をしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	保護者会・バザー等、保護者間で顔合わせをする機会を設けていますが、各家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状のようですが、毎年少しずつ参加人数も増えてきています。保護者同士の連携は大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたいと思います。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			重要事項説明書にて外部の相談窓口も記載、苦情解決担当者及び責任者を配置し対応しています。今年度よりリスクマネジメント委員会も設置し、より組織的に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12			学童クラブ通信（月１回）、いきいきだより（年１回）の発行。HP（ブログも開設）も新しくしましたので、是非ご覧ください。
	35	個人情報に十分注意しているか	12			鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			保護者にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら気持ちの確認に取り組んでいます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12			法人として年2回の当施設にてお祭りの実施の他、（他事業と共に）事業所として市民祭りに参加しています。また、地域の方に無料でおもちゃの貸し出しも行っています。昨年度より町内会にも参加し、施設の事を知っていただける機会も増えました。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	1		災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルの策定を職員にはわかり易い所に掲示、閲覧できるよう設置しています。おもちゃライブラリーの【しおり】を配布し、より分かりやすく周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			年５回避難訓練（火災・地震・ミサイル・不審者）を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			その都度、利用者対応については職員間で話し合いの機会を持ち、適切な支援の仕方を確認しています。今年度虐待防止委員会を設置しました。職員会議にて虐待についての勉強会を実施、障害者センターと共催にて虐待・権利擁護に関する研修会も実施します。今後も外部研修も含め積極的に参加していきたいと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	2		利用契約書にて、利用児童又は他の利用児童の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体抑制を行わない事を明記し、説明をしています。また、その都度、保護者への連絡は密に取り、安全に過ごすことができるよう環境整備しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	4		現在ｱﾚﾙｷﾞｰ対象者はいませんが、契約時に必ずｱﾚﾙｷﾞｰの有無の確認を書面にて行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			事例があった際はヒヤリハット報告書を作成し、全職員が閲覧し、内容を把握して、対応をしています。リスクマネジメント委員会も設置できましたので、組織的に対応していけるようになりました。